

稲作だより～第6号 水管理・中干し 編～

茎数を確保した圃場では直ちに中干しを！

6月20日現在の普及課の調査圃場の調査結果では、生育が回復し、茎数、葉数は平年を上回り、葉色も濃くなっています。一方で、移植が遅れた圃場は、生育量が不足している状況となっています。

茎数を確保した圃場では、直ちに中干しを行いましょう。

| 品種 | 年次 | 草丈 (cm) | 茎数 (本/㎡) | 葉数 (枚) | 葉色 (SPAD値) |
|-------------------|-----|------------|-------------|-----------|---------------|
| はえぬき (尾花沢市尾花沢) | 本年 | 31.2 | 446 | 7.9 | 38.8 |
| | 前年 | 31.4 | 230 | 7.0 | 39.2 |
| | 平年 | 30.4 | 305 | 7.2 | 37.6 |
| | 平年比 | 103 | 146 | +0.7 | +1.2 |
| つや姫 (村山市河島) | 本年 | 39.8 | 582 | 8.5 | 47.7 |
| | 前年 | 38.3 | 231 | 6.7 | 41.6 |
| | 平年 | 33.6 | 354 | 7.0 | 41.3 |
| | 平年比 | 118 | 164 | +1.5 | +6.4 |
| 雪若丸 (東根市蟹沢) | 本年 | 29.9 | 643 | 8.3 | 45.7 |
| | 前年 | 32.3 | 342 | 8.0 | 49.0 |
| | 平年 | 28.7 | 439 | 7.8 | 47.3 |
| | 平年比 | 104 | 146 | +0.5 | -1.6 |

1 有効茎を確保した圃場では、直ちに中干しを！

【中干しの目安】

○㎡当り茎数が、「つや姫」では410本以上、「雪若丸」では560本以上、「はえぬき」では450本以上なら、直ちに中干しを開始する。

○中干しの程度は、田面に小ヒビが入り、歩ける(足跡が残る)程度とする。

【中干しの効果】

- 土壌に酸素が補給され、イネの上根が伸長する。
- 窒素の吸収を抑制して、過剰な無効分けつの発生を抑える。
- 田面が締まり、秋のコンバイン収穫が効率的に行える。

【作溝の効果】

- 中干しの効果が高まります。効率よく圃場全体に水を行き渡らせることができるようになるため、登熟期の水管理がしやすくなります。
- 3か月予報によると8月の気温は高いと予報されています。作溝をしっかり行い、暑い夏に備えましょう。

【中干し後の水管理】

- 中干し後は、走り水とし、飽水管理(足跡に水が残る)程度とする。
- その後、徐々に間断かん水に切り替える。
- 大切な用水です。土地改良区等の情報を基に、適期・適正に灌水します。

2 茎数の確保が遅れている圃場では、浅水管理とワキ対策で茎数確保を！

①茎数不足 → “水深 2 ～ 3 cmの浅水管理”（夜間や早朝に水を入れ、水温を高める。）

②土壌の“ワキ”や葉色の低下 → すぐに落水(夜間)し、水を交換する。

◎以上の対策を行い、6 月中に有効茎を確保しましょう。また、穂肥前に中干しを終了できるように、遅くとも7月に入ったら、中干しに入りましょう。

3 いもち病、斑点米カメムシ類対策

(1)梅雨は「いもち」の発生に注意 !!

最低気温が20℃を超える日が続くと、“葉いもち”拡大の恐れがあります。

取置き苗では平年より早くいもち病が発生しています。感染が拡大する前に、直ちに処分しましょう。田を見回り、病斑を見つけたらすぐ防除を !!

(2)斑点米カメムシ類の発生量は「やや多い」!!

畦畔・農道等の継続的な草刈りで、カメムシの生息しにくい環境を整えましょう。特に穂のつくイネ科雑草は、カメムシのエサになります。穂をつける前に刈り取りましょう。カメムシは圃場内の出穂したノビエ類やホタルイで繁殖するので、出穂前に残草対策をしっかり行いましょう。



◎農作業安全を徹底しましょう！熱中症対策も忘れずに !!
水分、ミネラルを十分に補給。こまめに休憩をとりましょう